

令和3年度第1回  
柏市立図書館協議会  
グループワークまとめ

柏市立図書館

# Aグループ意見集約

(Aグループメンバー)

三浦会長, 岩永委員, 宮島委員, 高橋委員, 吉原委員, 吉岡

## Aグループの意見 1

学びほぐす

学びほぐす 知 再構成し  
続ける

本と人を結ぶ学び方のア  
ドバイスをするサポーター  
が図書館である

「知らない」を知る場所

すぐに役立つ vs 教養

学校以外の学びの場  
→生涯学習(図・博・公)

図書館は調査相談に応じ  
る でも回答結果を出すこ  
とは無い

正解を与えられる気楽さと  
安心感

存在を許される場所

学ぶことに「人」がかかわ  
る

図書館 ナビゲーターの  
役割

未来に何を残すか

「にげること」を学ぶ場所  
・ひきこもり・いじめ・フリー  
ター・高齢者

得た(個人)ものをいかに  
地域に活かしていくか

資料からどうやって価値を  
生むか

## Aグループの意見 2

資料収集は過去だけのもの？ 未来へのつながりをどう作っていくか

新型コロナと地域の実態（資料作り）

実体験を記録に残す“資料”にしまられない

社会の「客体」から「主体」へ

資料の多様性を認める

逃げ場としての図書館

“逃げる”を学ぶ機会

認識を変えるチャンスロス

# Bグループ意見集約

(Bグループメンバー)

丹間副会長, 笹間委員, 藤田委員, 常野委員,  
佐々木委員, 早川委員, 柳川

## Bグループの意見 1

学びを通じてつながる

学んだことを使う場

分館の役割

分館を拠点に学びあうコミュニティを 分館の多さは柏市の強み

学びをサポートする役割

図書館の役割の拡張＝「学び」の共有(今までは個人モデル?)

地域(地区)の特性・よさを感じられる分館に

図書館はずっと利用してきたが、人とつながるという感覚はあまりない

学校教育とは違う役割

子どもたちから教えられている

人と人との関わり

知財＝人が頼りにする場

ヨコの学びのはずがタテの学びに? ex)子ども司書

“学び”を奨励する場＝図書館だとすると、整備した本をどう活かすか?!が大切! →担い手は?!

「ありがとう」の気持ち←→知恵・技 購入(?)

「学び」と「ありがとう」の組合せが新鮮!

大人の責任で子どもが育っていく

unlearn を具体的に図書館でどう実践できるのか?

誰が地域作りに参加したいのか? その動機は?

つくるものとしての地域資料

## Bグループの意見 2

コロナ禍 起業したいなど  
→ジャンプの部分までサ  
ポートする

社会教育の場であり, ビジ  
ネス支援の場でもあって  
ほしい!

公民館に行くのはハード  
ルが高い イメージがある

地域(地区)の課題解決を  
サポートする図書館を分  
館ごとに行う

図書館は, 生きるための  
「糧」を手に入れられる場

資料収集のプロセスはい  
いが, 成果的にあまり需  
要はない?

柏のダブルデッキ上ス  
ペースを活用したい

持続可能な地域であるた  
めの学びを支える図書館

調べていくと面白いもの  
がある

市のHPが分かりにくくどういった取り組みやイベントがあ  
るか分からない 興味をひかないアクセスしづらい 観光  
地の市のHPのようなものがほしい